

“やさしさ”と“思いやり”の
心の大切さを、気づかせる



第38回 教育映画祭

動画部門 優秀作品賞受賞

くまの おししやさん



原作／金森三千雄(岩崎書店刊)



23分／1991年／北星(株)
DVD 64,800円(税込)
16ミリ 237,600円(税込)



・対象 幼児・小学校低学年
 ・用途 一般教養

● 映画の主題

美しい自然を背景に展開する家族愛や動物村の皆が助け合って、平和に暮らしている様子、そうした中にももたらされる親子、友人、村人たちの信頼の絆の大切さ、やさしさや思いやりの大事な事、安全にはいつも気をつけるなどに気づかせ、幼い子の温かい心情を育むのに役立てる。

● 集団学習

・小学校、幼稚園、保育園、児童館における幼児保育などの場で、「みんな仲よくたすけあいましょう」、「のりものに きおつけましよう」(自転車の乗り方)「家族の心の絆の大切さ」に気づかせる、学習教材として活用する。

◎ ものがたり

くまのお父さんは、森のおいしゃさんです。森には、ウサギやタヌキ、モグラやキツネなど、たくさんの動物たちが仲良く暮らしています。くまのおいしゃさんは、みんなの病気やケガを治すために、日曜日や真夜中だって、毎日どこにでも自転車で乗って、でかけていきます。

そのため子どもはサベアとエベアは、お父さんとお風呂に入りたいのにもいつもふたりで入らなければなりません。

ある日、自転車で乗っていたキツネのトトは、木にぶつかって大ケガをしてしまいました！ 気を失っていたながら、トトは、サベアとエベアにあやまりたいとつぶやきました。どういふことなのかキツネの手当てをしていくおいしゃさんには、まったくわかりません。家に帰ると、サベアとエベアにトトのことを話し、そして聞きました。しばらく口ももっていたふたりは、「自転車はほしい」と……！ ようやく話したのです。ずっと前から、お父さんといっしょにお風呂に入っておねだりするつもりでした。このことを知っていたトトは、自分が自転車でケガをしたことに、とても責任を感じたのです。でも、お父さんは、あきらめかけたふたりに、空から飛びたような青い自転車をプレゼントしました。けれども、次の日も次の日も雨です。ようやく晴れた朝、お父さんがコーチして、サベアの自転車のりの特訓が始まりました。サベアは、早くお父さんのように上手に乗れるようになって「風とお友だち」になりたくて仕方ありません。ついに、サベアひとりて自由に自転車で乗れるようになりました。道路も野原も、へっちゃらです。

そして、お父さんが忘れた、大切な薬を届けるため、遠くに住むくまのおばあさんのところに自転車で行くことになりました。

家を出る時、お母さんに坂のところはいったん降りて、ころがしていくようにといわれました。広い野原を走ってすっかり気持ちよくなったサベアは、お母さんの注意を守らず、乗ったまま坂を降りました。途中勢いのついた自転車は石につまづいてひっくりかえり、草むらに投げだされ足にかすりきずをおきました。さあ大変、大事な薬のビンがみつかりません。泣き出しそうになった時、ひょこり地面からモグラのクランが顔を出し、ビンを持ってきてくれました。無事、おばあさんに薬を渡す足さきで薬をつけてくださいました。お母さんの注意を守らなかったことを後悔しながら家に帰るとお父さんが喜んでくれ、ようやくお父さんとエベアと3人でお風呂に入ることができました。

■ キャスト

- くまのお父さん……塩屋 浩 二
- “ お母さん……折 笠 露
- “ サベア……水 谷 優 子
- “ エベア……矢 島 昂 子
- “ ポベア……こおろぎさとみ
- “ おばあさん……峰 あつ子
- たぬきのボクシオン……堀 内 賢 雄
- もぐらのおじいさん(クランブル)……龍 田 直 樹
- “ のクラン……林 原 めぐみ
- きつねのお父さん(トト)……沢 木 郁 也
- “ のトト……山 口 勝 子
- さるのコカ……山 寺 宏 一
- うさぎのお父さん……高 木 渉

■ スタッフ

- 原 作……金森三雄(岩崎書店刊)
- 制 作……北 星 株 式 会 社
- オディオ、ディレクター……田 中 英 行
- 音 楽……洪 江 博 之
- 効 果……7 ニ ム ・ サ ウ ン ド
- スタジオ……整 音 ス タ ジ オ
- ミキサー……小 原 吉 男

プログラム例「やさしさ、思いやりの心の大切さに気づかせる」(1時間)

	学 習 計 画	時間(分)
導 入	(1)学習目標の確認 (2)幼稚園や保育園、児童館、遊び場で楽しく遊んだりするにはどんなことが大事か?なるべくソフトに問いかける。	8
展 開	これからアニメーション映画「くまのおいしゃさん」をみましょう。いろいろな動物がでてきますからよくみてください。	2 3
	まず、出てきた動物が何をしたか? (1)あらかじめ、おのおのの特徴ある顔を厚紙に描いて用意しておく。発言に従ってその顔を提示して発言を整理する。何をしたか事実を中心にする。 (2)個々の動物の顔を提示して、その行動について思ったことを発表させる。おいしゃさんはやさしくて親切だみんな助かる。トトがけがをしてもサベアのことを心配している気持ちいいやり。もぐらの子が薬をみつけてくれたサベアを助けるやさしさ。くまのおばあさんの手当て一やさしい。この他に、サベアの自転車のことで、うれしいこと、父の特訓一自分の思い出など出てきても横道にそれないように注意する。くまのおばあさんのところへ行く途中の坂道の転倒について、安全な自転車の乗り方を軽く扱う。サベアが家へ帰ったら、お父さんが喜んで大変ほめてくれたこと。(達成感と存在感)	2 1
ま と め	それぞれの印象・所感を総合して、共通していること一みんなやさしく親切、友だちのことを思って助けるころの大切さを感じさせる。	8

学 習 の 要 点

一話し合いのポイント一

- ・全体的には、次の点を気づかせる。
- ① 善意の持ち主ばかりのどうぶつ村の平和な雰囲気、暮らしぶり。
- ② くまのおいしゃさん一家の温かい気持ち。奉仕的活動
- ③ 友だちのことを思いやる、やさしい心。
- ④ 自転車(一般に乗物にもふれて)に対する安全の大切さ。
- ⑤ 父にほめられたサベアの気持ち。(子どもながらに達成感、存在感を実感させたい)一ここは大事なポイント。
- ⑥ 待望の父と三人一緒の入浴の気分のすばらしさ。

